;	科目名		陸上特殊無線	П	担当	講師	東	東峰 康二	
講師	下実務経験	映像制作会	会社 勤務						
交	力象学年	1 学年	対象コース	ビジュ	アルクリエイト	ーコース	授業形態	講義	
	期間	後期	総授業回数	6 🗓	1回;	あたりの授業	時間	135 分	
修	得目標		陸上特殊無線 戦を熟知し、過				受ゼミ。無線 法	去規、無線工学	
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	11月27日		ダンス-定期試)試験方法及で		進め方				
2	12月4日		、工学~過去[、工学~過去[双答方法解説 双答方法解説	
3	12月11日		、工学~過去[、工学~過去[军答方法解説 军答方法解説	
4	1月22日		、工学~過去 、工学~過去					双答方法解説 双答方法解説	
5	1月29日		、工学~過去[、工学~過去[-		-	解答方法解説 解答方法解説	
6	2月5日		、工学~過去[、工学~過去[09A/工学09 10A/工学10			解答方法解説 解答方法解説	
			生 ⊒=+E仝\ ₄ ດດ	0/ 亚光上:	10片/山中立	2 相山州 4	四类的中。四	幼++;□+>じ\	
評	萨価方法	定期試験(成績評価力	筆記試験)100 5法:A	プル、十吊 <u>京</u> 二	10点(工席学	≌、掟冚彻、]	皮未忠度 切	祖仏沈など)	
	評価		平価点 S(10				· · · · ·	不可)	
	テキスト		å養成課程標△ 				•		
注	意事項	18時間中	7時間の欠席	まで定期試験 かんかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	受験不可=ዻ	革業ができま	せん(留年と	:なります)	

;	科目名		MA実習		担	当講師	田艾						
講師	手務経験	音楽·番組	制作会社勤務										
交	力象学年	1 学年	対象コース	ビジュフ	プルクリエー	イトコース	授業形態	実習					
	期間	後期	総授業回数	6 回	1[回あたりの授業	美時間	135 分					
修	得目標	MAの概要	を学習し、ビラ	ずお制作におり	ける音声約	扁集の基礎的な	な知識と技術	を修得する。					
回数	日程			【授	業	計	画】						
1	11月27日	授業ガイダ	ンス/MAの [‡]	既要•基礎的	な知識につ	ついて							
2	12月4日	MA作業準	備/ナレーシ	ョン・アフレコ	の収録につ	ついて(1)							
3	12月11日	ナレーション	レーション・アフレコの収録(2)/音楽・効果音の仕込み(1)について										
4	1月22日	音楽·効果	音の仕込み(2	 ?)/実技習得	异度判定 詞	大験対策 につい	ハて						
5	1月29日	実技習得度	医判定試験										
6	2月5日	定期試験対	対策 / まとめ										
		ᇦᄳᆉᅑᅶ	***(20m/中++ トート	須 庇 / フ へ な / ユ	7 告 上 1 2	上/山库泰 坦:	口怖 拉来华宁	:					
評	呼価方法	定期試験点 成績評価力		守 及 (/ U%) 汁	-吊屈士10	点(山 角平、掟[山彻、按耒忠因	・取組状況など)					
	 評価	上記総合記		0-90) A(89-	·80) B(79	-60) C(59-50	D) D(49以下	不可)					
-	テキスト	各回授業に	こてプリント配え										
注	意事項	18時間中	7時間の欠席	で定期試験	受験不可	卒業ができま	せん(留年と	なります)					

;	科目名		AfterEffects	3	担当	講師	水	上志乃	
講師	手務経験		卒業した後、 として活動中。	映像制作会补	土にてイベン	ト系の撮影と	:編集業務に	携わる。後、	フ
交	才象学年	1 学年	対象コース	ビジ	ュアルクリュ	ニイト	授業形態	実習	
	期間	後期	総授業回数	7 回	1回	あたりの授業	時間	135	分
修	得目標	AfterEffect	sの基礎的な	操作を修得す	·る。				
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	11月28日	オリエンテ-	ーション After	rEffectsの概況	要 作品研究	₹			
2	12月5日	フォトショッ る	プやイラストレ	ーターの素材	才を元に、キ	ー フレームア	ニメーション	について学	習す
3	12月12日	シェイブレイ	イヤー テキス	トレイヤー 1	こついて				
4	1月23日	パスアニメ	ーション につ	いて					
5	1月30日	マスクにつ	いて						
6	2月6日	AfterEffect	csの標準エフュ	-クトについて					
7	2月13日	Premiere Ł	の連携						
評	———— 『価方法	作品提出認成績評価力	平価(100%). 5法:C	、平常点±10	点(出席率、	提出物、授	業態度∙取組	状況など)	
	 評価	及積計価方法: ○ 上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
=	テキスト		-	•	-				
注	意事項	21時間中	8時間の欠席	常で定期試験	受験不可=2	卒業ができま	せん(留年と	:なります)	

7	科目名		映像制作		担	3当講師	岡	」 宏樹
講師	実務経験	映像制作会	会社勤務					
対	象学年	1 学年	対象コース	ビジュ	アルクリコ	ロイト専攻	授業形態	実習
	期間	後期	総授業回数	7 回	1	回あたりの授	業時間	135 分
修	得目標	テーマを映	像で表現する	ための撮影・	編集方法	を修得する。		
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	11月28日	授業ガイダ テーマに沿	ンス つた映像制作	I ①(企画、	絵コンテ制	制作)		
2	12月05日	テーマに沿	つた映像制作	I ②(撮影)				
3	12月12日	テーマに沿	つた映像制作	I ③(編集)				
4	01月23日	テーマに沿	つた映像制作	Ⅰ①(企画、	絵コンテ制	制作)		
5	01月30日	テーマに沿	つた映像制作	Ⅱ②(撮影)				
6	02月06日	テーマに沿	かた映像制作	Ⅱ③(編集)				
7	02月13日	試験対策						
福	·····································	定期試験点成績評価力		得度(50%)斗	P常点±10)点(出席率、提	出物、授業態度	・取組状況など)
	評価	上記総合記		0-90) A(89-	-80) B(7	9-60) C(59-5	0) D(49以下	不可)
7	テキスト							
注	意事項	21時間中	8時間の欠席	まで定期試験	受験不可	「=卒業ができる	ません(留年と	なります)

;	科目名	T	/番組撮影実習	띨 I	担当講師	田草	端 優一						
講師	下実務経験	放送局関連	関連会社勤務 対象コース										
坎	才象学年	1 学年	対象コース	ビジュフ	アルクリエイトコース	授業形態	実習						
	期間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業	時間	270 分						
修	得目標	番組制作的	こ必要な撮影・	収録の基本	テクニックを修得する。								
回数	日程												
1	11月29日	授業概要記 いて	業概要説明〜テレビスタジオ、副調整室の使用上の注意や機材全般の取り扱い方につ て										
2	12月6日	スタジオカ	メラ、ペデスタ	ルの取り扱い	方について								
3	12月13日	音声機材、	照明機材の取	以り扱い方につ	ついて								
4	1月24日	スタジオ・ロ	コケ番組の制化	作、技術につい	ντ(<u>1</u>)								
5	1月31日	スタジオ・ロ	コケ番組の制作	作、技術につい	NT(2)								
6	2月7日	スタジオ・ロ	マジオ・ロケ番組の制作、技術について③										
7	2月14日	TV番組撮影											
割	·····································	定期試験点 成績評価2		得度(70%)의	Z常点±10点(出席率、提出	出物、授業態度	・取組状況など)						
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)											
	テキスト	資料配布											
注	意事項	42時間中	15時間の欠	席で定期試験	検受験不可=卒業ができる。 ●	ません(留年の	となります)						

	科目名	=	ライブ撮影実	習 I	担当請	構師	田端 優-	-/東峰	康二				
講師	市実務経験	放送局関連	重会社勤務										
求	対象学年	1 学年	対象コース	ビジュ	アルクリエイトコ	コース	授業形態	美	 < 【習				
	期間	後期	総授業回数	女 4 回	1回あ	たりの授業	時間	270	分				
修	得目標	ライブ収録	を通し、スイ	ッチング、カメ	ラワーク、CCU	操作等の	基礎テクニッ	クを修得	する。				
回数	日程			【授	業	i l	画】						
1	12月14日	音楽ライブ	のスイッチン	グ及びパラ収	録 ①								
2	1月25日	音楽ライブ	ミライブのスイッチング及びパラ収録②										
3	2月1日	音楽ライブ											
4	2月8日	音楽ライブ	のスイッチン	グ及びパラ収	録 ④								
= :	······································	定期試験点	数(30%)実技位	修得度(70%)	平常点±10点(出席率、提出	出物、授業態原	度•取組划	(況など)				
<u> </u>	平価方法	成績評価ス											
	評価	上記総合記	平価点 S(1	100-90) A(89	-80) B(79-60) C(59-50	D(49以下	不可)					
	テキスト	資料配布											
注	È意事項	24時間中	□ 9時間の欠	常で定期試験	食受験不可=卒	業ができま	せん(留年と	こなります	۲)				

7	科目名		企画制作 I			担当講師	種	田俊二		
講師	下実務経験	元放送局勤	协務							
交	象学年	1 学年	対象コース		ビジュアノ	レクリエイト	授業形態	講義		
	期間	後期	総授業回数	4	回	1回あたりの授業	時間	135 分		
修	得目標	番組制作に	こおける企画書	まと構成表	の重要性	生を理解し、具体的な	な書き方を修	を得する。		
回数	日程			【授	業	計	画】			
1	11月30日	実践 企画	書・構成表の	書き方①						
2	12月7日	実践 企画	ℹ書∙構成表の∜	書き方②						
3	1月18日	実践 企画	ℹ書∙構成表の∜	書き方③						
4	2月15日	実践 企画	ℹ書∙構成表の∜	書き方④						
評	· 呼価方法	定期試験(成績評価力		%、平常点	点土10点((出席率、提出物、持	受業態度∙取	組状況など)		
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
7	テキスト	各回授業に	こてプリント配す	†						
注	意事項	12時間中	4時間の欠席	で定期記	式験受験	不可=卒業ができま	せん(留年と	なります)		

7	科目名		コンテ制作 I			扌	旦当講師	ì	引 宏樹	
講師	実務経験	映像制作会	≩社勤務							
交	象学年	1 学年	対象コース		ビジュ	アルクリ	エイト専攻	授業形態	実習	
	期間	後期	総授業回数	4	回	1	回あたりの授	業時間	135	分
修	得目標	PVや記録、	、ダイジェスト別	快像な	ど用途	に合わせ	た映像の制作	方法を修得す	ける。	
回数	日程			【授		業	計	画】		
1	11月30日	コンテ、映作	象制作 I							
2	12月07日	コンテ、映作	象制作Ⅱ							
3	01月18日	コンテ、映作	象制作Ⅲ							
4	02月15日	コンテ、映作	象制作Ⅳ							
評	価方法	定期試験点 成績評価力		得度(70%)平	空常点±1	0点(出席率、提	出物、授業態度	度•取組状況	!など)
	 評価	上記総合記		0-90)	A(89-	·80) B(7	9-60) C(59-5	50) D(49以下	不可)	
-	テキスト		·					<u> </u>		
注	意事項	12時間中	5時間の欠席	で定	期試験	受験不可]=卒業ができ	ません(留年と	なります)	

;	科目名		VE実習 Ⅱ		担当	講師	東	峰 康二
講師	下実務経験	映像制作会	会社 勤務					
坎	才象学年	1 学年	対象コース	ビジュフ	アルクリエイ	トコース	授業形態	実習
	期間	後期	総授業回数	4 🗓	1回	あたりの授業	時間	135 分
修	得目標	映像システ	-ムの配線、撮	影機材の調整	隆•操作等 だ	ができ、仕込る	み準備ができ	きるようになる。
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	11月30日	VE II ①-撮	影機材の作業	┊調整∙操作 ①	D			
2	12月7日	VEⅡ②-撮	影機材の作業	美調整∙操作 ②	2)			
3	1月18日	VEⅡ③-撮	影機材の作業	┊調整∙操作 ②	3)			
4	2月15日	VEⅡ④-撮 定期試験 <i>0</i>	影機材の作業 D確認	======	1)			
=:		定期試験点	数(30%)実技修	得度(70%)斗	学常点±10点	(出席率、提出	出物、授業態度	₹・取組状況など)
iii	平価方法	成績評価力	5法:B					
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	-80) B(79-6	60) C(59-50) D(49以下	不可)
	テキスト	各回授業に	こてプリント配る					
注	È意事項	12時間中	4時間の欠席	常で定期試験	受験不可=2	卒業ができま	せん(留年と	なります)

;	科目名		スチール実習	¹ I	担	当講師	高村	喬 吉之					
講師	下実務経験	カメラ修理:	会社、写真撮影	影および編集	会社勤務								
交	才象学年	1 学年	対象コース	ビジュ	アルクリエ	イト専攻	授業形態	実習					
	期間	後期	総授業回数	8 🗓	1 🖪	回あたりの授業	時間	135 分					
修	得目標	一眼レフカ	メラの基本操作	作の習得、撮	影意図を反	えいさせるた <i>め</i>	の操作方法	を修得する。					
回数	日程			【授	業	計	画】						
1	12月1日	ガイダンス	、写真に求めら	られるもの、使	見用するカン	メラの基本操作	作方法						
2	12月8日	フルオート	ルオート、オートでの撮影方法、露出補正、フォーカスの合わせ方										
3	12月15日	絞り、シャッ	り、シャッタースピードの効果と操作方法										
4	1月19日	構図の種类											
5	1月26日	撮影場面な	り、被写体ごと	の撮影モード	の使い分	†							
6	2月2日	作品制作①	計画立案とロ	1ケハン									
7	2月9日	作品制作②	〕撮影、セレク	卜、提出									
8	2月16日	作品レビュ	一、復習、試馴	検対策									
	<u> </u>	定期試験点	数(30%)実技修		· 常点±10;	点(出席率、提出	出物、授業態度	・取組状況など)					
評	P価方法	成績評価力											
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	80) B(79	-60) C(59-50	D(49以下	不可)					
-	テキスト	プリント都原											
注	意事項	24時間中	9時間の欠席	で定期試験	受験不可=	卒業ができま	せん(留年と	なります)					

;	科目名		時事研究		担:	当講師	山田	日 佳晴
講師	下実務経験	ニュース・B	寺事問題を読∂	み解き、日常	生活の思考	・行動に活用	する力を修得	計する。
交	ま 学年	1 学年	対象コース	スタッ	フ関連科目	受講者	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	8 🗓	1 🖪	あたりの授業	時間	45 分
修	得目標	ニュース・฿	寺事問題を読∂	4解くことで、	日常生活の)思考・行動へ	の活用法を何	修得する。
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	12月1日	直近のニュ	ースについて	1				
2	12月8日	直近のニュ	ースについて	2				
3	12月15日	直近のニュ	ースについて	3				
4	1月19日	直近のニュ	ースについて	4				
5	1月26日	直近のニュ	ースについて	5				
6	2月2日	直近のニュ	ースについて	6				
7	2月9日	直近のニュ	ースについて	7				
8	2月16日	講義振り返	り、試験対策					
評	·····································	定期試験(成績評価プ	筆記試験)100	%、平常点土	10点(出席	率、提出物、抗	受業態度•取	組状況など)
	評価	上記総合記		0-90) A(89	-80) B(79-	-60) C(59-50) D(49以下	不可)
7	テキスト	無し						
注	意事項	8時間中3	時間の欠席で	定期試験受	験不可=卒	業ができません	し(留年となり	ます)

	科目名	京	t職ガイダンス		担当	i講師	_	·岡永	
講師	下実務経験	音響会社勤	 務						
交	才象学年	1 学年	対象コース		就職対象専	攻	授業形態	講義	
	期間	前期	総授業回数	8 🗓	1回	あたりの授業	時間	45 分	
修	得目標	企業情報の)収集、就職活	動計画な	ゆ応募書類等	京、就職活動	準備方法を修	を得する。	
回数	日程		[授	業	計	画】		
1	12月1日	就職用写真	真の撮影準備に	こついて					
2	12月8日	自己PR作品	成のポイント(原	芯募用)					
3	12月15日	志望動機作	F成のポイント	(応募用)					
4	1月19日	エントリーシ	ノートの質問項	[目と解答	例				
5	1月26日	応募条件に	こついて考える	ı					
6	2月2日	過去求人の)紹介/応募企	業の選定	!				
7	2月9日	面接対策							
8	2月16日	春休み中に	出来る事/3月	の求人な	公開に向けて				
									\exists
<u> </u>	———— 萨価方法	2/3以上の	出席で「修得家	斉」評価					
	評価	「修得済」語 無し	平価(点数評価	は行わな	:U				
	<u>/ </u>		時間の欠席で	定期試験		 卒業ができま	 せん(留年と ⁷	 なります)	
j:	[忠尹垻	の時間出る	可則の入吊で、	仁州武贵	文献11月-4	一未かじさま	この(由午乙	ムツムリ /	

科目名		イベント実践期間(K-	-1ライブ前)	担当講師	東峰 康二·田 髙橋 吉之	端 優一・岡 宏樹・水上 志乃
講師実務経験		映像技術関連業務				
対象学年		1 学年 対象コース	ビジュフ	アルクリエイトコース	授業形態	実習
期間		後期 総授業回数	_ L	1回あたりの授業		270 分
修 得 目 標 K-1ライブの実施を通して、ライブ撮影・編集の基礎を修得する。 全てのコースを同時に準備を進め、セクションを跨いだコミュニケーション力を修得する。						
回数	日程	【授業計画】				
1	10月10日	K-1ライブ実施概要/セクション決定/イベント概論				
2	10月11日	ライブ撮影実習①				
3	10月12日	ライブ撮影実習②				
4	10月13日	ライブ撮影実習③				
5	10月16日	VE実習①				
6	10月17日	ライブ撮影実習④				
7	10月18日	編集基礎実習①				
8	10月19日	編集基礎実習②				
9	10月20日	編集基礎実習③				
10	10月23日	VE実習②				
11	10月24日	編集基礎実習④				
12	10月25日	編集基礎実習⑤				
13	10月26日	ストリーミング実習①				
14	10月27日	ストリーミング実習②				
15	10月30日	スチール撮影実習①				
16	10月31日	スチール撮影実習②				
17	11月1日	K-1ライブプランニング、行程表制作、打ち合わせ/確認事項				
18	11月2日	Kissホールロケハン/プランニング、カット割り制作、図面制作、配信進行表制作①				
19	11月6日	プランニング、カット割り制作、図面制作、配信進行表制作②/演出用映像プランニング				
20	11月7日	演出用映像素材撮影①				
21	11月8日	演出用映像素材撮影②~書き出し				
22	11月9日	演出用映像素材編集①/各専攻スチール撮影				
23	11月10日	技術確認/演出用映像素材編集~プレビュー~ダメ出し				
24	11月13日	各素材確認、Kissホール仕込み準備				
25	11月14日	Kissホール仕込み				
26	11月15日	ホール内撮影技術確認/出力チェック~修正①				
27	11月16日	ホール内撮影技術確認/出力チェック~修正②				
28	11月17日	ホール内撮影技術確認/出力チェック~修正③				
評価方法		2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価テキスト		「修得済」評価(点数評価は行わない				
ニューデャスト 注意事項		168時間中 57時間の	欠席で定期試	は験受験不可=卒業ができ	ません(留年	